



飯村孝夫

バリトンリサイタル

～人世の重みと深い愛の歌声

人生の黄昏時こそ黄金色に輝く～



2024年4月20日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場:板橋区立文化会館小ホール(TEL03-3579-2222)

東武東上線:大山駅南口徒歩約3分

都営三田線:板橋区役所前駅 A3 出口徒歩約5分

チケット:全自由席 前売り¥3500 前売り2名様特別割引¥6000 当日¥4000

お問い合わせ・お申し込み 住所:〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田 873 土屋弥生

Eメール:bun.yayoi2525@tbz.t-com.ne.jp Tel:0470-68-2058

後援: TIF 音楽研究会・亀山コーラスグループ「やまぼうしの会」・こんさーと「あれとこれと」
合唱団コールソレト・さんさん会



プロフィール

飯村孝夫 Takao Imura

数多くのオペラ、オペレッタ、ミュージカルに出演し、独特のキャラクター振りをみせてきた。「仮面舞踏会」のレナート、「トロヴァトーレ」のルーナ伯爵、「エルナーニ」のドンカルロ等でルーマニア国立ヤシ歌劇場の客演。

また「ボエーム」「天国と地獄」、61年ぶりの再演となった。

永井荷風の「葛飾情話」等のオペラを手がけ、2002年9月、日本ルーマニア修好100周年事業のブカレスト歌劇場での「夕鶴」で演出を担当。二期会会員。音楽工房フィオレット主宰。



佐藤かおる Kaoru Satou

国立音楽大学音楽部ピアノ科卒業、洗足学園音楽大学マスターコース1年修了。

篠塚雅子、原口歌子、マックスエッガー、アレキサンダーイエンナー各氏の師事。

サンジェルアカデミーにてチェンバロ、通奏低音、室内楽、フォルテピアノ、パイプオルガンを学ぶ。

千葉交響楽団ストリングスでエキストラチェンバリスト。

歌は好きだが下手だった私、歌うことを封印し、朗読をバックボーンに晩年を楽しもうと決めたその矢先、私の思いを覆す歌に出会ったのです！言葉だけでは語り尽くせぬものがあります。言葉にすると虚しくさえ思う事も。然し、飯村孝夫氏が歌うその歌声は見事に言葉が直球で琴線に触れてくる。その歌をぜひ多くの方に聴いて頂きたいのです。人生の黄昏時を迎えた今、あの世に旅立つ前に是非！ご家族・ご親類・ご友人・知人・愛人連れ立ちてこの素晴らしいバリトン飯村孝夫氏の歌を聴きにいらしてください。

オペラのアリアのみならず、イタリア歌曲・カンツォーネ・日本歌曲・歌謡曲から童謡まで、すべての歌が飯村孝夫の世界に包まれ放たれた時、愛が優しさが希望が、聴く人の心に届くでしょう。 主催 土屋弥生



板橋区立文化会館 〒173-0014 東京都板橋区大山東町 51-1 TEL03-3579-2222